

2019年12月期  
決算説明会資料

株式会社日本アクア



東証1部 (1429)

2020年2月25日

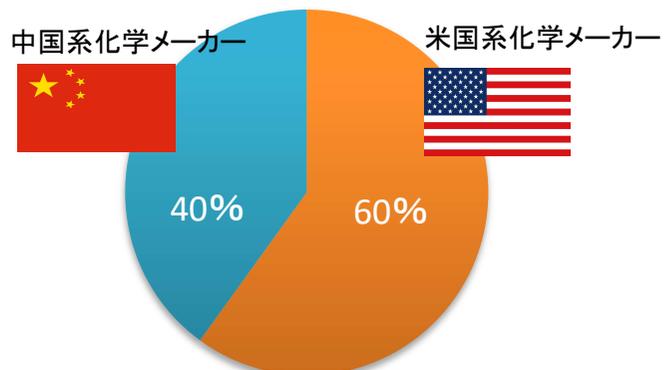
2020年12月期

# 通期業績の見通し

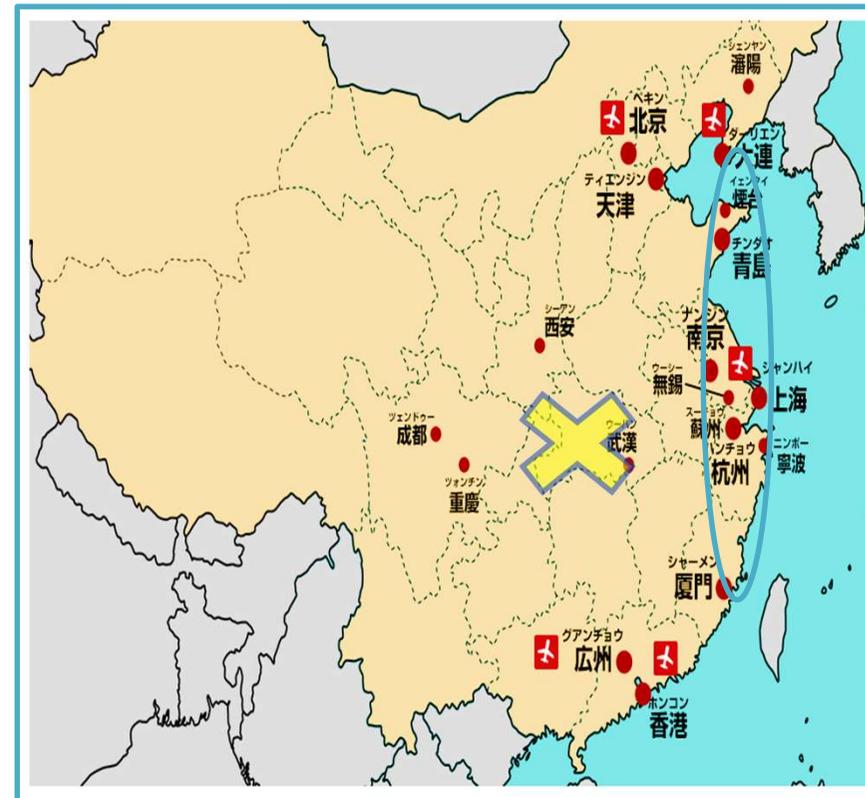
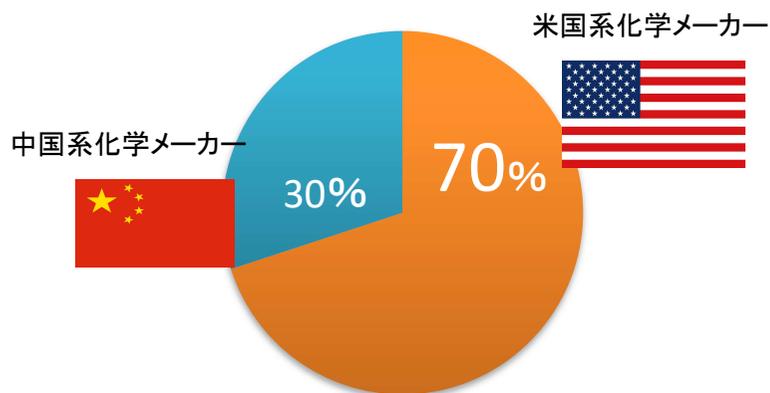
# 新型コロナウイルスの影響は??

➤ 2社購買体制により、原料供給リスクを回避

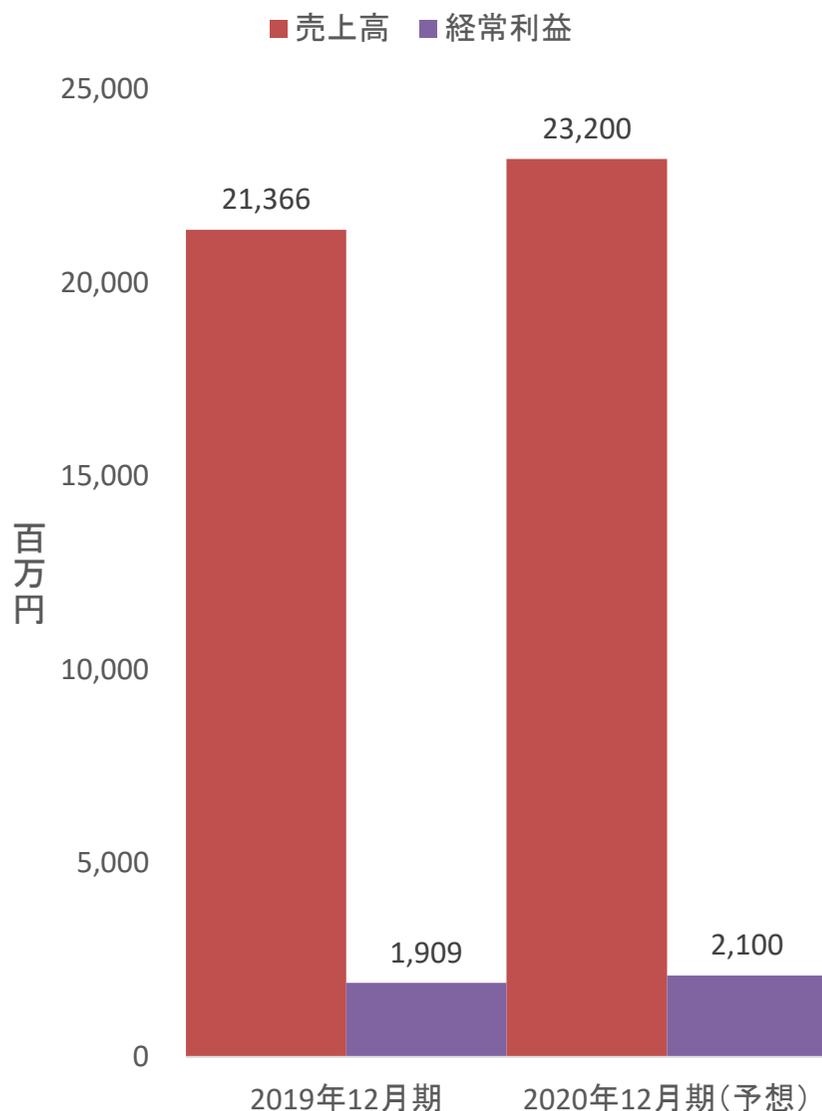
イソシアネート原料仕入シェア



イソシアネート原料仕入シェアの見直



# 2020年12月期通期業績の見通し



売上高

232億

対前年増減率

8.6%増収

経常利益

21億

10%増益

当期純利益

13億

7.8%増益

# 2020年12月期 売上予測 内訳

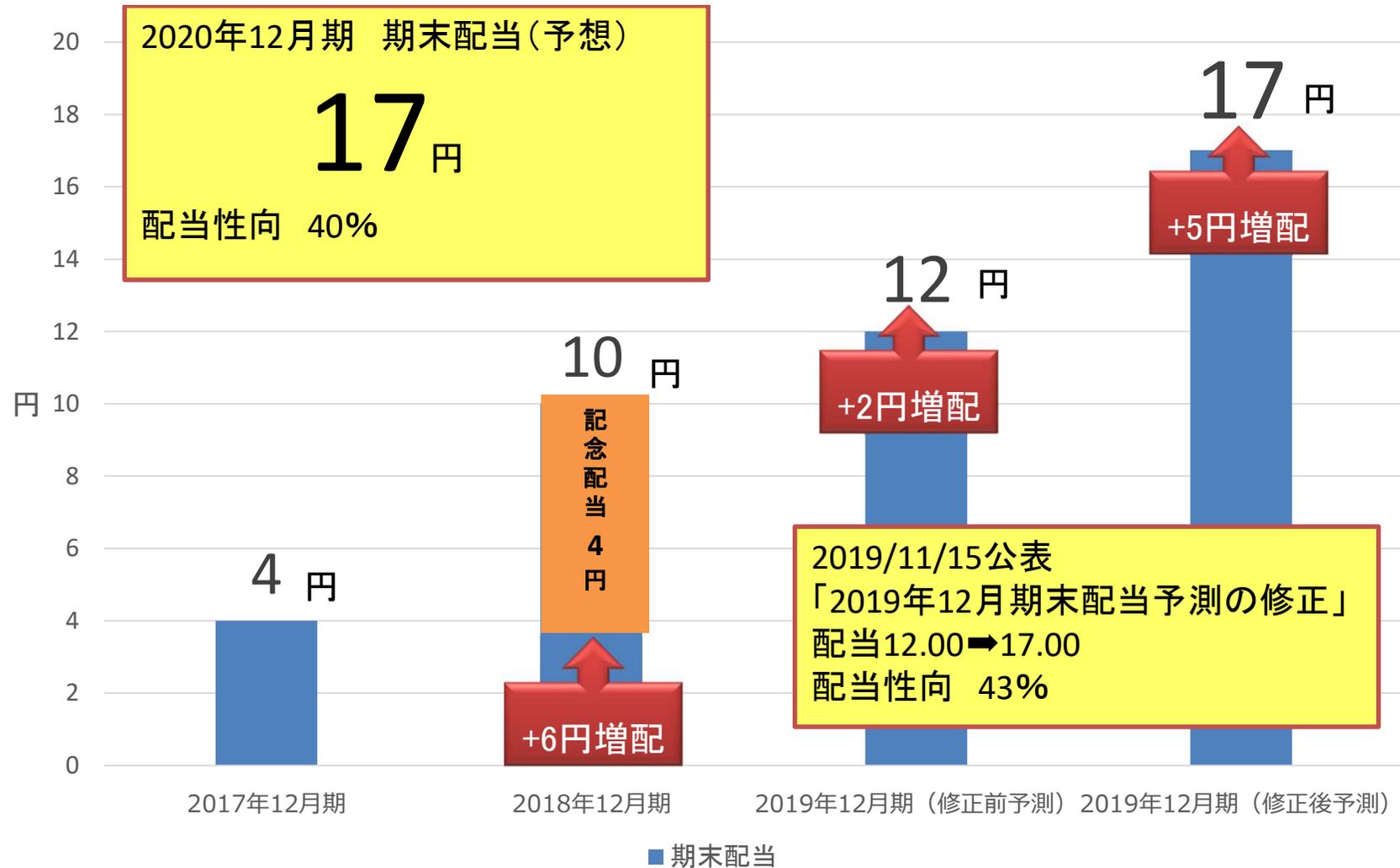


	2020年12月期 予測	2019年12月期 実績	
	百万円	百万円	前年比
<b>工事</b>			
木造戸建（新築・リフォーム）	<b>14,686</b>	13,687	107.3
建築物（アクアモエン、耐火、防水）	<b>5,295</b>	4,144	127.8
<b>商品販売</b>			
認定機械	<b>3,218</b>	3,535	91.0
原料販売・ブローイング			
副資材・その他			
空調・換気			
<b>売上合計</b>	<b>23,200</b>	21,366	108.6

➤ 戸建部門：消費税増税の駆け込み反動によって、上期、住宅着工件数が伸び悩むと予測。  
 ➤ ZEH（ゼロ・エネルギー・ハウス）は2030年を目標として強かに推進される方向なので、高気密・高断熱材のニーズは衰えないと予測する。

➤ 建築物部門：大手ゼンコン業績は、オリンピック以降の過度な悲観論は後退している。  
 ➤ 都市再開発系の大型プロジェクトの竣工ラッシュ。  
 ➤ 不燃断熱材の受注増と、防水材の投入によって、売上高が増収すると予測する。

# 2019年12月期配当予想及び配当の推移



# 持続的成長を支える仕組



# 受注増を狙う全国販売ネットワーク



大阪営業所



岡山営業所



鳥栖営業所

大規模（HUB）拠点には、  
原料をストック、原料配送の  
合理化を図る。



仙台営業所



埼玉営業所



名古屋営業所

## ▶ 全国40拠点

### ▶ 大規模（HUB）6拠点

仙台、埼玉、名古屋、大阪、岡山、鳥栖

### ▶ 中規模1拠点

新潟

### ▶ 営業所33拠点

# 中規模拠点を建設



青森営業所  
2020年4月竣工予定



金沢営業所  
2020年3月竣工予定



新潟営業所  
2019年9月竣工



厚木営業所  
2020年3月竣工予定



## 施工能力拡大と受注増に対応

➤ 中規模拠点建設に**12億円**を投資

➤ 生産性の向上

- ・原料倉庫+工務部門を設置
- ・原料配送の合理化
- ・工務人員の採用強化

➤ 労働環境の改善

- ・簡易宿泊ルーム、シャワールームを設置

# 施工体制を強化



➤ 施工機械台数計画 522台 ➔ **600**台

➤ 木造戸建工事体制

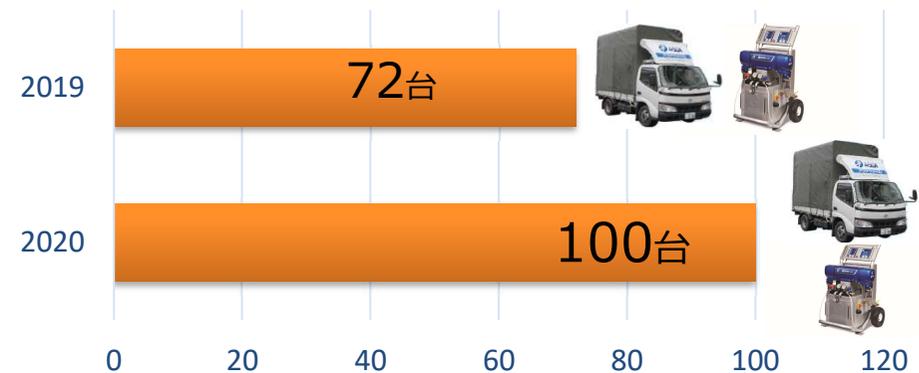
認定施工店315社

➤ 建築物工事体制

### 認定機械所有台数



### 自社機械所有台数



### 自社工務体制の強化計画

181名



2019

200名以上

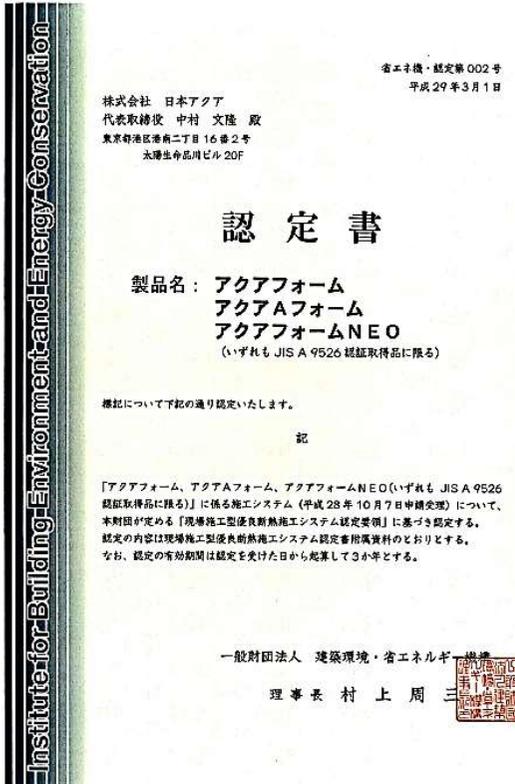


2020

# 施工品質管理 現場品質の確保



## 環境建築省エネルギー機構（IBEC）より 現場施工型優良断熱施工システムの認定を取得 アクアフォーム・アクアAフォーム・アクアフォームNEO（JIS A9526）



### 品質監理項目一覧

項目	管理基準	確認方法	期次
対象建築物	構造、工法、制度、基準等		
事前確認	施工内容 断熱、部位、厚み、クリアランス 使用断熱材 指定されたメーカー、種類	指示書との照合	事前調査
施工準備	原料仕入れ確認 指定されたメーカー、種類 環境温度 断熱使用環境内	目視 温度計	準備時
施工前確認	施工面の温度 断熱使用環境内 施工面の水分 全面で無いこと 施工面の汚れ 全面で無いこと 施工面の乾燥 濡れていないこと	温度計 目視	施工前
養生作業	養生の状態 異常が無いこと	目視	施工前
断熱確認	断熱仕様 仕様図書であること 「ク」・「クA」 仕様図書であること 断熱材の状況 断熱の汚れが無いこと 「ク」・「クA」 断熱表示と断熱使用標準の照合 「ク」・「クA」 断熱表示と断熱使用標準の照合 停止圧力 圧力表示と断熱使用標準の照合	目視 表示図取り	施工前
アスト マ シ シ シ	目視 異常な色むらが無い スプレーボタン 適正な状態（「ク」・「クA」）である	目視	施工前
吹付け 方法	吹き付け厚 吹付け厚さ、時間制限が適切 重ね吹き回数 重ね吹き回数、時間制限が適切	目視、計測	施工時
吹付け 品質	施工部位 指定仕様であること 施工厚み 指定仕様以上であること 目視 異常な色むらが無い 目視 異常な色むらが無い スプレーボタン 適正な状態（「ク」・「クA」）である 「ク」・「クA」 断熱表示と断熱使用標準の照合 「ク」・「クA」 断熱表示と断熱使用標準の照合 停止圧力 圧力表示と断熱使用標準の照合	指示書照合 表示図取り	施工時 （全数）
仕上り 検査	施工部位 指定仕様すべてに施工されている 厚さ、検査ポイントの設置状況、数量 フォームの状況 断熱材、ヒビ割れ、収縮が無い 目視、計測 完了確認書 品質の記載確認	目視、計測	施工後 （全数）
片付け	廃棄物 片付け・清掃されていること 器具類 現場責任・製品の整理整頓	目視	施工後
完了 表示	表示 大気環境の必要な表示がある	表示確認	施工後



品質パトロールカーにて、  
全国で品質パトロールを  
実施。

# ブローイング・リサイクル



**ウレタン業界初のマテリアルリサイクル  
の取り組みです。**

日本のリサイクルは約80%がサーマル  
リサイクルです。



名古屋・仙台のアクアブローファクトリー



# 成長戦略

# 木造戸建向け断熱材 アクアフォーム



- アクアフォームの特長
- ・水で発泡する断熱材
- ・高断熱性能・優れた気密性能を発揮



- アクアフォーム施工研修ビデオより

「アクアモエン®」好評発売中



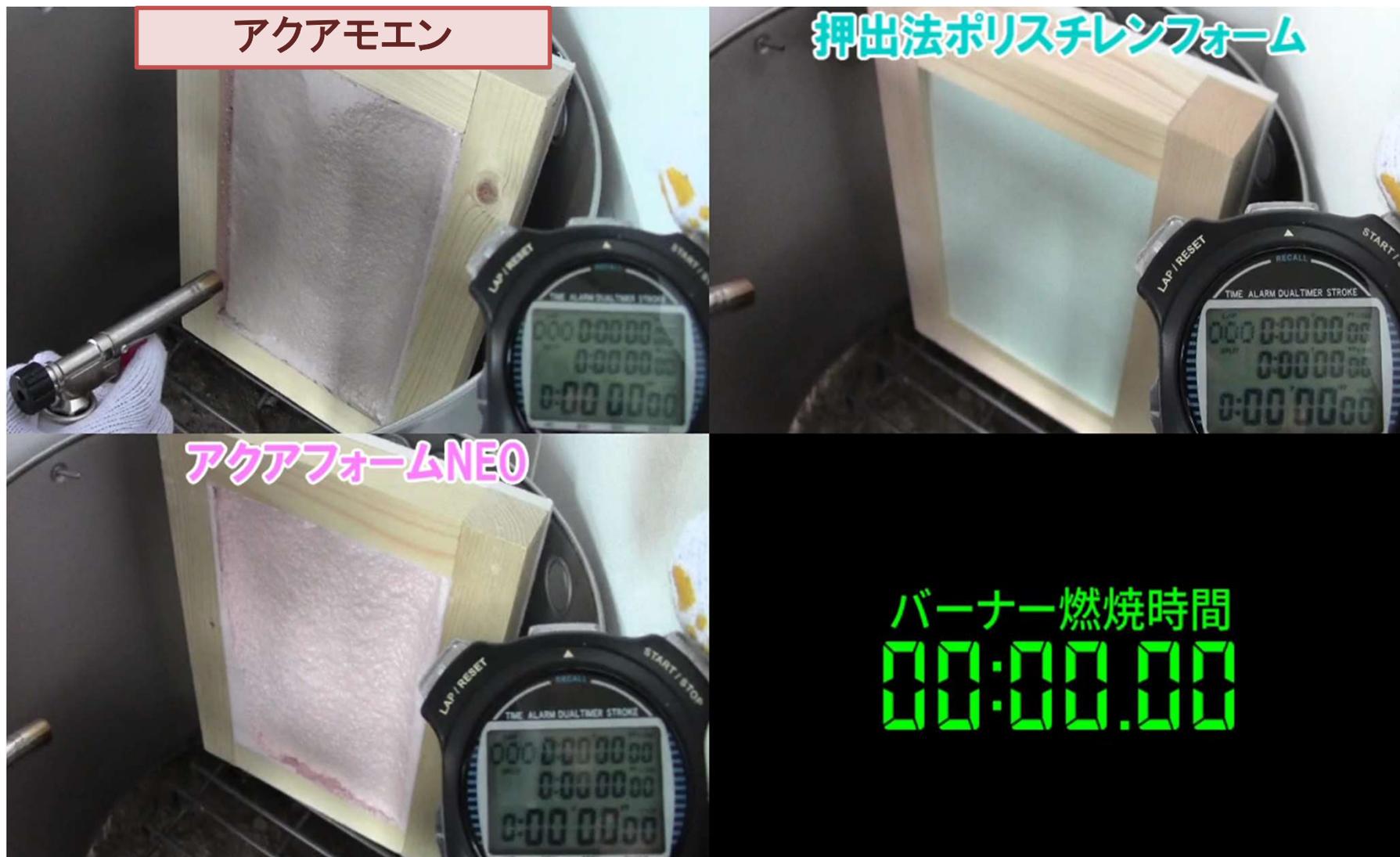
アクアモエン  
好評発売中

2019年7月12日

大臣認定取得



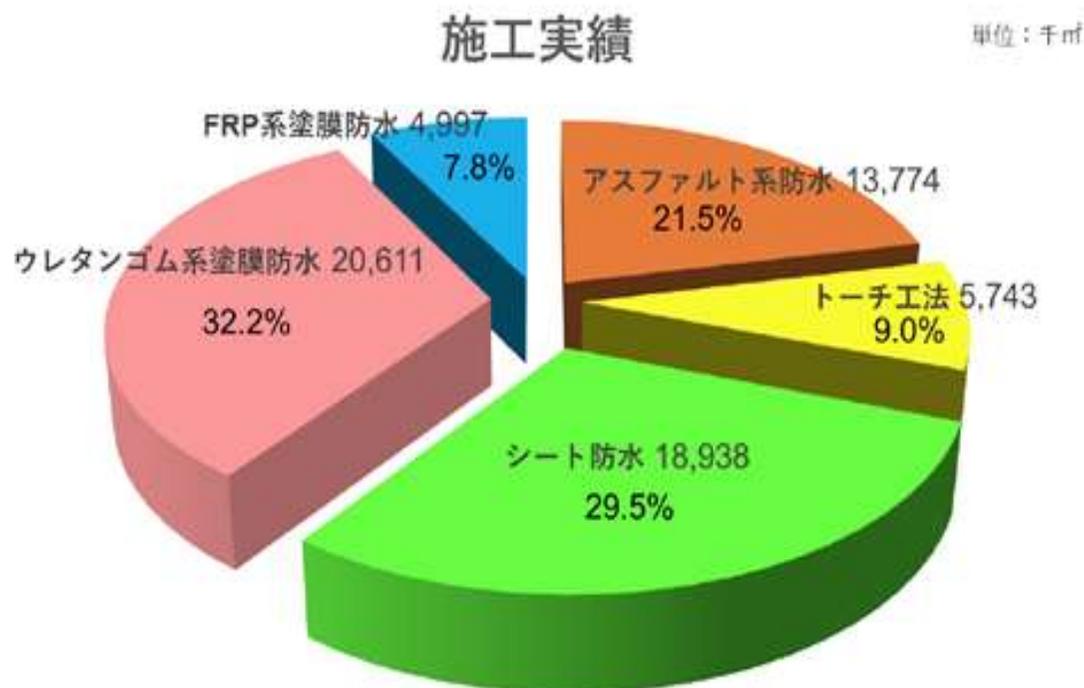
# アクアモエンの耐火性能



# 防水市場の規模



2018年 防水市場における施工実績は6千4百万㎡



一般社団法人 日本防水材料協会HPより一部抜粋。

	アスファルト系防水 (熱工法、常温工法)	改質アスファルトシート防水 (トーチ工法)	合成高分子系シート防水 (KRK)	ウレタンゴム系塗膜防水 (NUK)	FRP系塗膜防水 (FBK)	計
2018年	13,774 (104.2)	5,743 (123.5)	18,938 (104.8)	20,611 (102.6)	4,997 (96.0)	64,063 (104.6)

# 「アクアハジクン®」発売開始



2019年9月4日「日刊木材新聞」掲載  
日本アクア ポリウレア防水を年内に本格発売



スプレー塗布後に超速硬化

**短工期**



優れた強度と防水性能

**長期性能**



無触媒・無溶剤

**環境性能**



超速硬化防水システム  
**アクアハジクン®**  
建築物吹付け防水システム

**ポリウレア防水を年内に本格販売**

ウレタン防火断熱材が引合い好調

日本アクア

日本アクア（東京都、中村文隆社長）は超速硬化ポリウレア防水剤の本格販売を年内に開始する計画。硬化が早く、スプレーしてから約30秒後にはその上を歩けるようになるポリウレア防水は従来では広く利用されておらず、性能は劣るが、同社の場合、硬質ウレタン断熱材の現場発泡の吹き付け機械をポリウレア防水剤にも利用できるように、全量発泡の厚さをそのままで利用できるのが強みとなる。中村社長は「売上高の2割を占める程度まで伸ばしていきたい」としている。

入し、それを国内の提携工場（フレンド）に、（中心）拠点として、物流拠点を確保した。ハブ拠点は7カ所が完成しているが、南と自社工務（自社で持つ）を置き、施工力をさらに拡充していく。今後4、5年かけて整備していく方針だ。スポーク第1号として新潟営業所を17日に開設する予定。施工現場と距離の近い断熱材輸送と工務人員の確保でさらなるシェアアップを図る。

現在同社の施工機械は5、6台と国内最大級。木造戸建て向けの認定施工店は315社、施工機械は451台、建築物向け事業の工務人員は181人、施工機械は1台と拡充を進めている。建築物向けでは、断熱材を海外から採る方針だ。原料在庫

# アクアハジクン施工動画



# 空調事業



風運時  
*foo~unji*  
 -スマート空調-

安心の10年保証\*

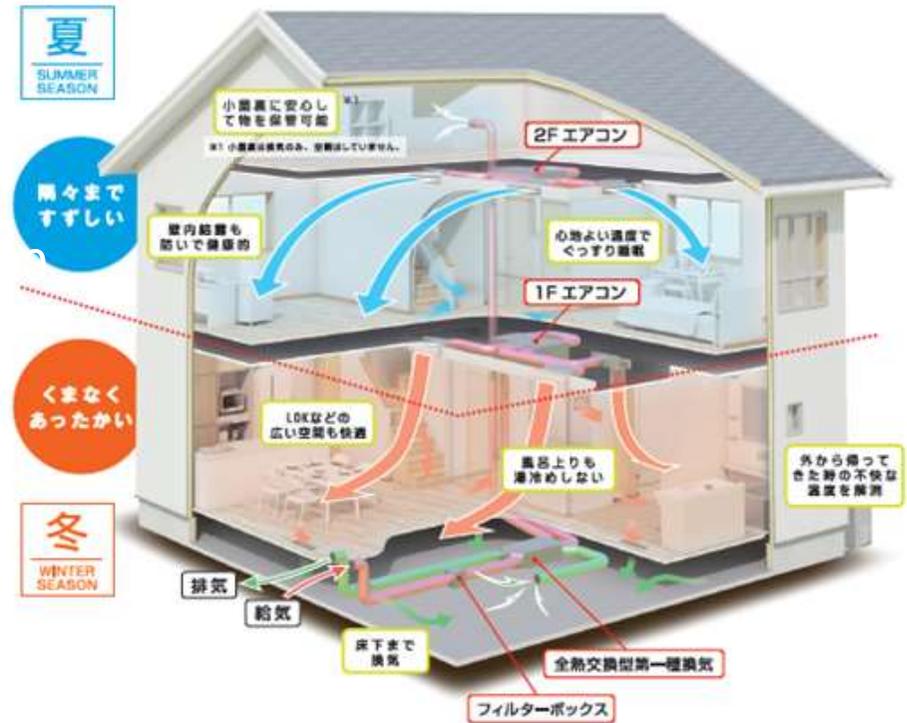


日本の家を変えていく。

特許 第6211675号

# エ空調

- 特許第6211675号 -



# 海外への展開 韓国での断熱材市場

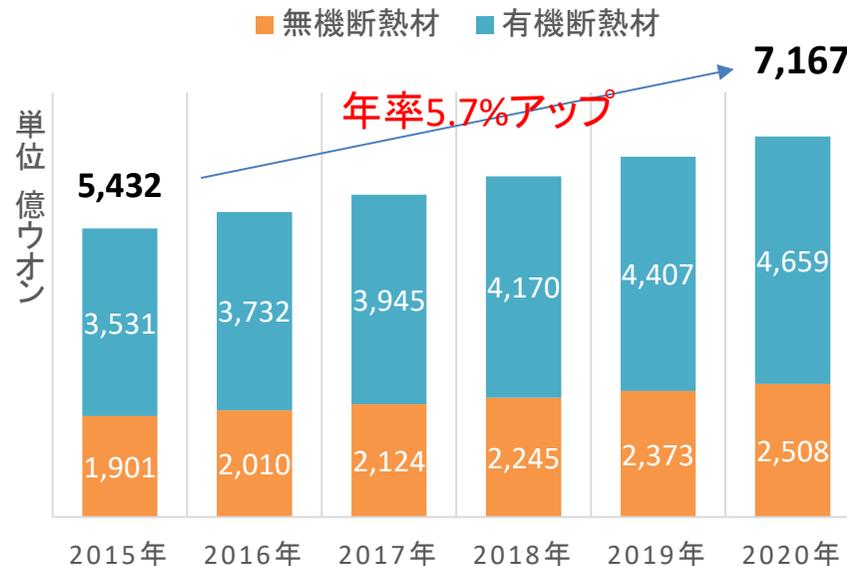


## ➤ 背景

韓国政府の「低炭素グリーン成長」政策の推進に  
**高気密・高断熱の断熱材**と不燃無機断熱材に対する社会的要求が高くなっている。



## ➤ 2015年～2020年まで、韓国の断熱材市場規模は拡大中



## ➤ 韓国におけるポリウレタンメーカーの売上実績

単位: ウォン

2018年	会社数	売上高
韓国メーカー	8社	2,460億
外国メーカー	2社 → 3社 日本アクアが参入	100億

## ➤ NEXT to ベトナム



2019年12月期  
決算説明

# 2019年12月期の業績 対予想比・対前年増減率



単位：百万円

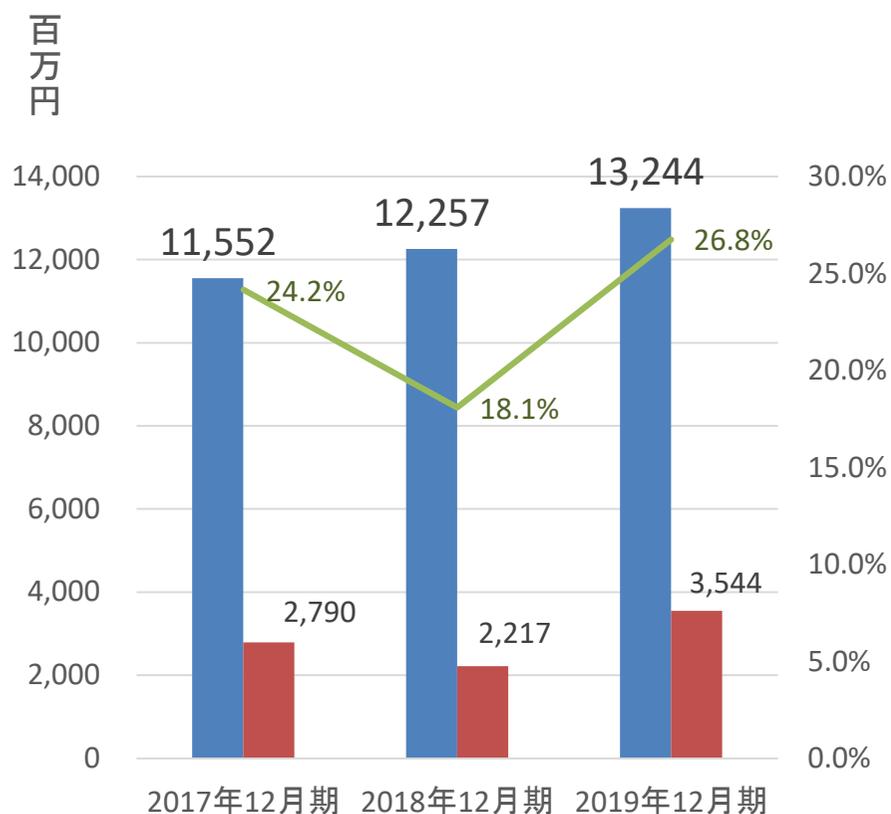
	2019 実績	2019 修正予想	予想比 (%)	2018 前期実績	対前年増減率 (%)
売上高	21,366	21,195	100.8	19,417	10.0%
売上総利益	5,403	5,358	100.8	3,891	38.9%
営業利益	1,909	1,807	105.6	766	149.0%
経常利益	1,909	1,800	106.1	764	149.7%
当期純利益	1,275	1,150	110.9	489	160.5%

- 売上高につきましては、10月に実施された消費税率引上げの影響が懸念されていましたが、戸建住宅部門、建築物部門共に「アクアフォーム」の商品力を生かした営業展開が奏功し、対予想、対前年とも増収しました。
- 営業利益及び経常利益は、アクアフォームの原材料であるイソシアネートの供給不足による価格高騰の影響が解消したことにより、対予想、対前年ともに増益しました。

# 戸建住宅部門 売上高・売上総利益の推移



■ 木造戸建 ■ 売上総利益 ▲ 利益率



売上高 対前年増減率

8.1%増収

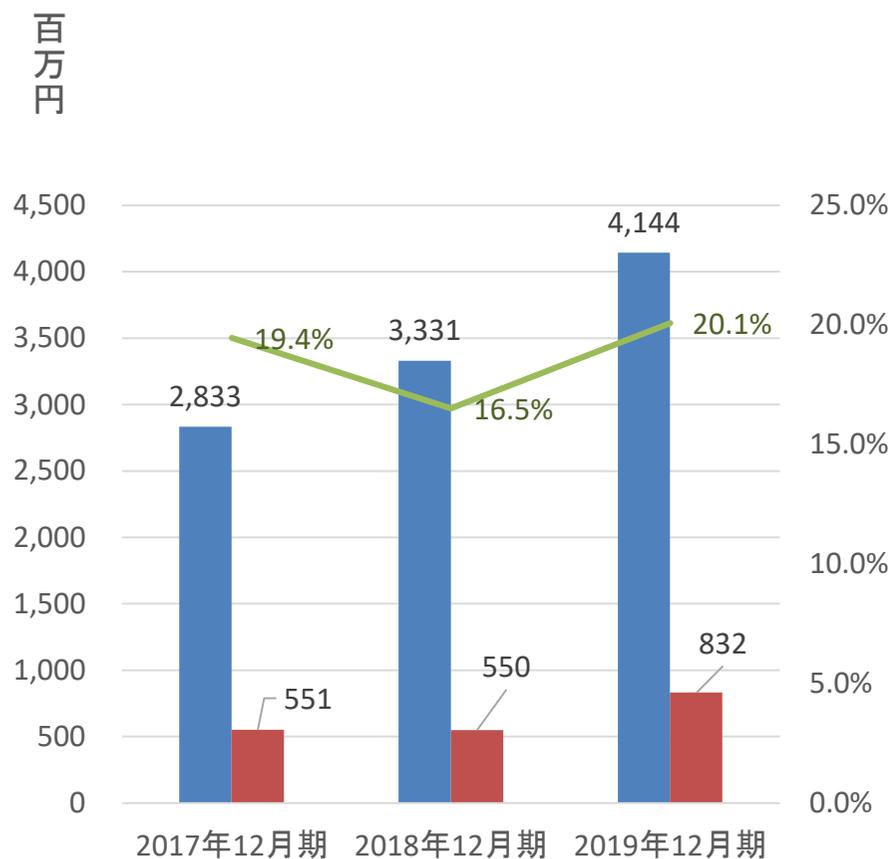
利益 対前年増減

13億27百万円増益

# 建築物部門 売上高・売上総利益の推移



■ 建築物 ■ 売上総利益 — 利益率



売上高 対前年増減率

24.4%増収

利益 対前年増減

2億82百万円増益

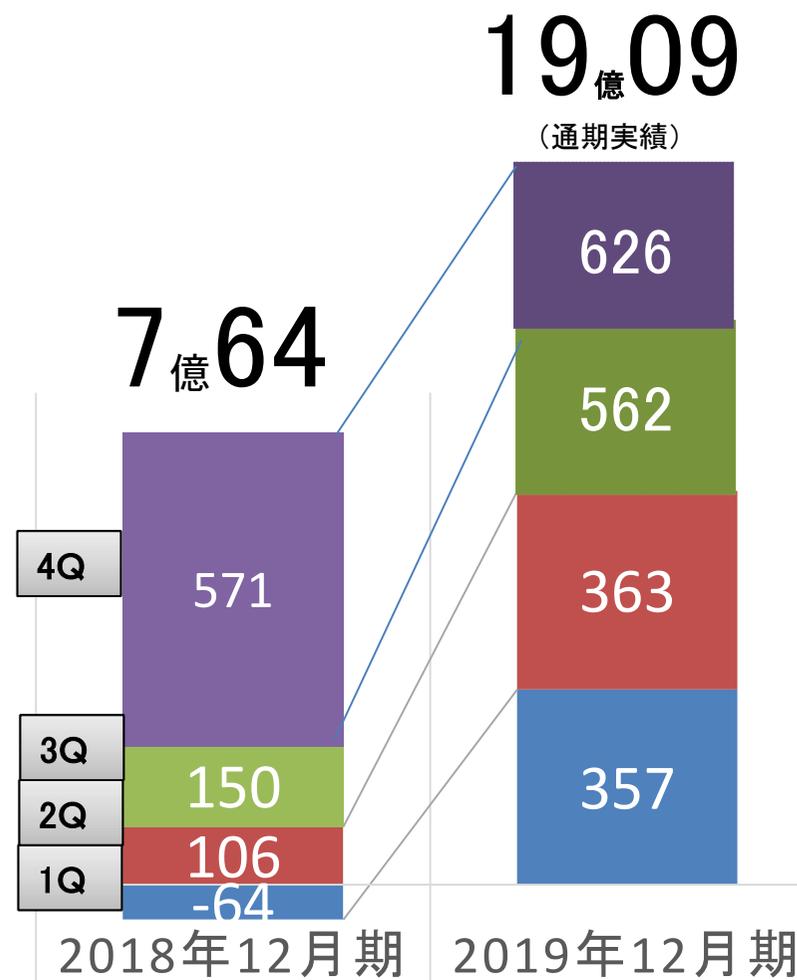
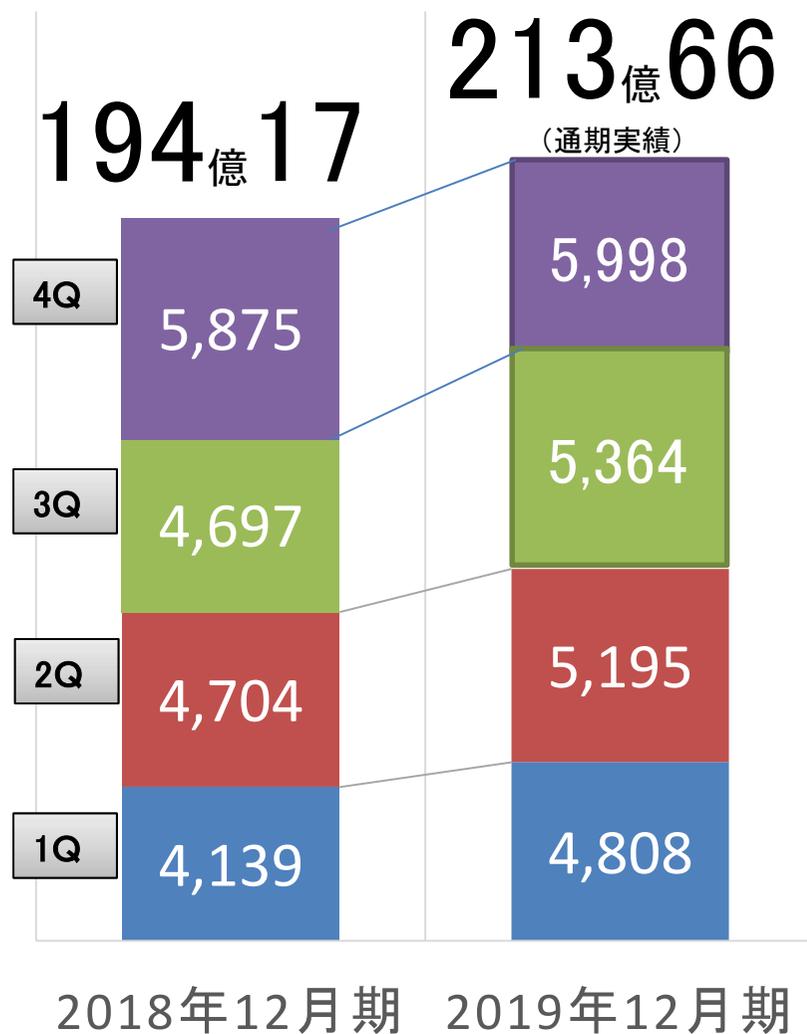
# 2019年12月期四半期売上高・經常利益



四半期売上高

単位:百万円

四半期經常利益



# 2019年12月期 財政状態及びC/Fの状況



単位:百万円

B/S項目	2019/12末	2018/12末	対前期末増減率
総資産	15,379	14,381	6.9%
負債	8,536	8,496	0.5%
純資産	6,843	5,885	16.3%
自己資本	6,843	5,885	16.3%
自己資本比率	44.5%	40.9%	2.5%

C/F項目	2019/12末	2018/12末	対前年増減率
営業C/F	1,657	△ 359	-
投資C/F	△ 769	△ 39	-
財務C/F	△ 902	316	-
現金及び現金同等物期末残高	1,878	1,893	-0.8%

- B/S項目の増減要因は、決算短信をご参照ください。

- 営業C/Fの増加⇒税引前四半期純利益増
- 投資C/Fの減少⇒営業所建設契約時金と土地取得支出
- 財務C/Fの減少⇒配当金支払と当座貸越を圧縮  
よって、手元現預金は減少



会社名	株式会社 日本アクア (Nippon aqua Co., Ltd.)
代表取締役	中村 文隆
本店所在地	〒108-0075 東京都港区港南2-16-2
事業内容	建築断熱用硬質ウレタンフォームの開発・製造・販売・施工 住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売
従業員数	475名(単体:2019年12月末現在)
設立年月日	平成16年11月29日
資本金	19億3百万円
発行済株式総数	34,756,000株(2019年12月末現在)
株主数(2019年12月末現在、総株主数)	3,738名

本資料に記載されている当社の業績予想及び将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。また、本資料の作成にあたっては、記載されている情報に誤り・遺漏等が無いよう、細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。

2019年12月期  
決算説明会資料

株式会社日本アクア



東証1部 (1429)

2020年2月25日